

わ  
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成21年10月15日		
		作成部署	建設交通部 道路建設課		
事業名	都市計画道路 石見下海印寺線（第3工区）	地区名	長岡京市花山1丁目 ～下海印寺内田		
概算事業費	約70億円	事業期間	平成7年度～平成24年度		
事業概要	交通の円滑化と歩行者の安全を確保し、良好な市街地の形成を図るため、都市計画道路を整備する。（現道拡幅及びバイパス整備） 道路築造：延長 711m、幅員 22.0m（4車線）、両側歩道(3.5m)				
目指すべき環境像	施工地周辺は、周囲に田畑が残された緑豊かな住宅地であるため、地形改変を最小限に抑えるとともに、良好な生活環境を保全する。				
関連する公共事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都第二外環状道路</li> <li>・京都市都市計画道路事業（伏見向日町線、中山石見線）</li> <li>・大山崎大枝線道路新設改良事業（井ノ内工区）</li> </ul>				
	評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点	選定要否			
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO <sub>2</sub> 排出量等)	○	現道は、幅員が狭く歩道が未整備であることから、特に朝夕の通勤時間帯を中心とした渋滞の発生し、車の速度低下によるCO <sub>2</sub> の排出量増加の一因となっている。	交通の集中による渋滞を緩和し、周辺道路を含めた交通を円滑にすることで、CO <sub>2</sub> の排出量の縮減が期待できる。	4
	地形・地質				
	物質循環(土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系				
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	○	現道は、幅員が狭く歩道が未整備であることから、歩行者や自転車通行者の安全性を高める必要がある。  沿道に人家が多いことから、自動車の通行に起因する交通騒音を低減させる必要がある。  事業の実施により発生する建設発生土の抑制と資源の再利用に努める必要がある。	バリアフリーに対応した歩道を整備することで誰もが利用しやすい歩道とする。  高機能舗装の採用により、沿線に与える交通騒音の抑制を図る。  土質改良による軟弱土の利用により建設発生土を抑制する。 アスファルト殻、コンクリート殻等を再資源化施設へ搬出するとともに、再生資源の利用を図る。	4
	水環境・水循環				
	大気環境				
	騒音・振動	○			
	廃棄物・リサイクル	○			
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
	その他				
	地域個性・文化環境	景観			
里山の保全					
地域の文化資産		○			
伝統的行祭事					
地域住民との協働		○			
その他					